
笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議

報告書

令和8年〇月

笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議

報告書（案）

1 不採算部門等の医療について

市内における医療提供の現状を踏まえて、その不足分を補うことを主とし、高次医療機関等とのつなぎ役を担うとともに、公の医療機関として不可欠な救急・周産期・小児・離島医療等については、集約化や連携を通じて維持すべきである。

2 災害時・新興感染症に対する医療について

有事の公的医療機関の役割への期待は非常に大きいですが、平素からの備えには大きな負担が生じる。このため、規模や体制、果たすべき役割を踏まえたうえで、効率よく運営できる範囲での備えを検討されたい。

3 地域包括ケアシステム構築の中で担う医療について

地域で長く暮らし続けられるよう、「治し支える」という観点で、高齢者救急や在宅医療、訪問看護等において、地域の医療機関と連携し、経営とのバランスを鑑みながら、その体制構築に努められたい。

4 外来診療科について

市内で不足している皮膚科や小児科等を維持できるよう医師の確保を図り、かかりつけ医と連携して住民に必要な医療が提供できるよう努めていただきたい。

5 病床機能と病床数について

病床利用率の低下や今後の医療人材確保の困難さを念頭に置きつつ、市内医療機関の状況を考慮しながら将来のニーズを見通したうえで、60床までの範囲内で有床診療所なども視野に入れ、適切な規模・機能となるよう柔軟に検討されたい。

6 地域連携の取り組みについて

かかりつけ医や介護施設からの緊急時の受け入れや福山市民病院など高次の医療機関からの回復期の患者の受け入れを担うべく、関係医療機関と連携して地域住民に円滑に必要な医療が提供できるよう努めていただきたい。

7 経営形態について

市の財政や人事の負担、医療人材の確保などを十分考慮し、適切な経営形態となるよう慎重に検討されたい。

令和8年〇月〇日

笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議

笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議 委員名簿

		氏名	所属
1	委員長	則安 俊昭	岡山県 保健医療統括監
2		前田 嘉信	岡山大学病院 病院長
3	副委員長	谷口 正人	笠岡医師会 会長
4		猪木 篤弘	笠岡医師会 前会長
5		宮島 厚介	笠岡第一病院 理事長
6		平木 章夫	笠岡中央病院 理事長
7		村上 裕二	村上脳神経外科内科 院長
8		室 雅彦 (第1回第2回) 植木 亨 (第3回)	福山市民病院 院長

(順不同)

笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議 開催経過

	開催日	内容
第1回	令和8年1月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 今後の進め方 (2) 市民病院の現状について (3) 新地域医療構想について (4) 意見交換
第2回	令和8年3月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 検討事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 不採算部門等の医療 2 災害時・新興感染症に対する医療 3 地域包括ケアシステムの構築の中で担う医療 4 外来診療科 5 病床機能と病床数 6 地域連携の取り組み 7 経営形態
第3回	令和8年5月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 前回までの振り返り (2) 市長への報告書(案)